

## 大阪地検の「関電元会長等に対する不起訴決定」は許せない！ 公然と行われた背任と収賄を立件したくない検察の腐敗

大阪地検特捜部は9日に、金品受領と役員報酬補填などで収賄罪と特別背任罪として告発されていた関電元役員ら9人全員を嫌疑不十分として不起訴とした。

### 全ての事実は収賄と背任を立証している

関電の第3者委の調査報告書でも、マスコミの報道でも、元役員ら83人が、高浜町の森山元助役側から30年間にわたって3億2千万円以上の金品を受領し、森山氏への工事情報の提供と随意契約、そして現地事務所、福井県職員109人への金品受領も明らかになり、原発利権の森山関連企業への利益供与と大幅な発注の実態が明らかとなっている。ところが、検察は30年間もその腐敗を放置してきて、元助役が死亡したことを理由に立証を放棄した。

役員報酬の補填については、東日本大震災後に減額した役員報酬を、退任後に相談役などに委嘱して約3億円を補填していた。これについては国税庁が「所得隠し」として重加算税を請求した。そして関電も旧経営陣にその返済を求めている。ところが検察は「嘱託として業務実態がなかったと言えない」と結論して不起訴。



### 告発した市民団体は抗議！ 検察審議会に！

2019年12月13日に、全国3272人によって告発された。以来毎月、起訴要請行動が行われ、今回のあまりにも不当な決定に対しては10日に急遽抗議行動が行われた。

市民団体は処分を不服として検察審査会に申し立てる。そのためには再度の「委任状」が必要なので協力が要請されている。12月1日に検察から説明を受けた後で検察審査会に審査を申し立てる予定。



## 来年1月半ばに「第6波」ピークの恐れ 上昌弘さんが警鐘(日刊ゲンダイ11/5)

新型コロナウイルスの新規感染者が急激に減少し、11月10日の統計では日本は205人となっている。一方で、人口の75%以上がワクチン接種を終えている韓国では急激に感染が拡大している。(3012人/10日)

これについて医療ガバナンス研究所の上昌弘氏は「日刊ゲンダイ」で、「季節的要因が大きい。韓国は日本より気温が低い。欧州でも気温の低いバルト3国から、東欧、中欧、西欧に順次感染が拡大している。」韓国ではワクチン接種が日本より早く、予防効果が落ちてきているのはいか。「日本にも第6波は来るでしょう。現在の韓国は1～2か月後の日本の姿と言えるかもしれません」。

## 小型原発は危険を拡散！ 事故の可能性増大の危険！

自民党の総裁選で高市氏に引っ張られて岸田氏も「小型モジュール炉」の開発推進を表明した。選挙公約には、小型モジュール炉(SMR)の地下立地などへの投資を積極的に後押し、核融合開発も推進し、実用化を目指すとした。

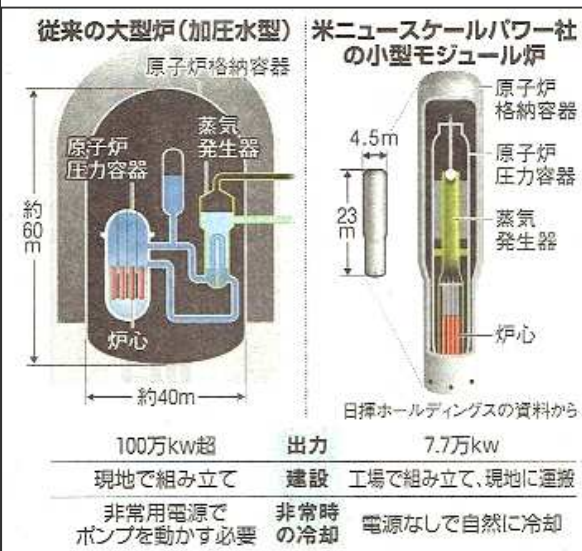
### 小型モジュール炉(SMR)はむしろ危険だ

2020年代後半の実稼働を目指すのがSMRだ。SMRは、原子炉全体をモジュールとして工場で生産し、現地に運搬して設置する。ポンプなどの機器が不要で品質管理の容易で工期短縮できるので安上り。そして大型プール内に設置しておけば、万一の事故時には自然循環で除熱できるなど安全性が高いという。

大きくて危険なら、小さくすれば安全というのは全くのデマである。いかに小型にしても、核をコントロールすることはできない。むしろ安全施設が省略され、簡略化されることで危険性は増す。まして小型原発を各所に分散配置することは管理や警備の上でも危険性を拡散する。そして地震や地殻変動、水害の多発する日本では地下室に配置すれば安全と言うのはまったくのデマである。

### 日揮HDやIHI、日立、三菱が続々と参入

日揮HDとIHIは加圧水型タイプのSMRの開発を進める米ニュースケール・パワーに出資した。同社のSMRは複数のモジュールを地下プール内に設置し、万一の事故時は運転員が操作をせずとも自然炉心冷却で冷却を可能という。しかし地震でプールの水が流出したり、土砂が流れ込んだりしたらその前提は破綻する。日立GEは米GE日立と共同で、沸騰水型タイプのSMRを開発中。三菱重工業も小型の加圧水型のSMRの実証を目指すという。



11月4日の朝日新聞、上の図を掲載して、「冷えやすく重大事故を防げる可能性」と小型モジュール炉(SMR)の宣伝。核分裂を起こす原発の圧力容器がこれでは異常時には破滅は必至だ。

### あべのマスク 8300万枚の不良在庫 (朝日 10/28)

もう忘れられていた「あべのマスク」=小さくて布製、が作ったうちの3割近い約8300万枚(約115億円相当)が退蔵されていることを会計検査院が公表した。保管費だけでも半年に約6億の無駄使いだという。厚労省は「保管費はかかるが、簡単に捨てられない、有効活用を考える」。

### 雇用関係をごまかす偽装請負 (朝日 11/5)

多くの会社の現場では、非正規労働者が増加している。その中には「偽装請負」として働かせることが多い。今回、住宅建材大手の東リで、偽装請負で働いていた労働者が会社の都合で解雇されたことに対して、「東リと直接の雇用関係があることを認めること」を要求して闘った。大阪高裁は、偽装請負として、同社との直接雇用関係にあると認め、未払い賃金の支払いを命じた。

当たり前のことではあるが、素晴らしい判決である。

### 広島地裁 伊方原発差し止め仮処分を却下 (朝日 11/5)

伊方原発3号運転差し止めを命じた1月17日の広島高裁の仮処分決定は、3月18日に同じ広島高裁で四電の異議を認めて再稼働を容認。そして11月4日には広島地裁で、別の「差し止め請求仮処分」を却下した。

### ドイツ艦隊が中国を挑発に来航 (朝日 11/6)

10月には英海軍のクイーンエリザベスが日本に寄港し、米・英・日・豪・カナダ・ニュージーランドの6か国が中国近辺で挑発訓練を行った。そして11月には独海軍のフリゲート艦「バイエルン」が日本に寄港した。ドイツは第1次世界大戦で中国青島などの海外領地を失っており、アジア地区への軍事力の派遣は異常である。ドイツ艦船は帰途に

### 赤木さん公害災害認定文書 公開へ (朝日 11/6)

森友学園をめぐる財務省の公文書改ざんを強制され、自死した近畿財務局の赤木さんの「公務災害認定に関する文書」について、人事院が行った「一部不開示」決定は違法とした総務省・情報公開・個人情報保護審査会の答申に従って、違法性を認め、決定を取り消した。前回の開示文書は、ほとんどが「非開示」として黒塗りとなっており、人事院の隠蔽体質を如実に示していた。

### 案内 「アジアから問われる日本の戦争」展 12月10~12日 エルおおさか



2019年に「アジアから問われる日本の戦争」展を開催し、20年そして21年と新型コロナ禍の影響で大規模に開催出来てこなかった。今回規模を縮小し、約10団体が展示を中心に参加して「2021戦争展」が開催することになった。会場では「標的」、「ウトロの家族」、「ドキュメンタリー沖縄戦」などの映画も上映される。

9階の2部屋のギャラリーで展示を行うのは、辺野古新基地建設／宮古島自衛隊基地建設／領土問題／教科書問題／日本軍「慰安婦」問題／福島写真展／書と朗読／関西わだつみ会『学徒出陣』／大阪城の狛犬 など10団体である。各団体が最近の知見を含め展示を行うのでぜひご参加ください！

### 案内 講演会『「ヒロポン」と「特攻」』

相可文代さんが、91歳になられた梅田和子さんの学徒勤労働員などの戦争体験の話を聴き取り、覚醒剤、特攻、軍国主義教育、天皇と指導者の戦争責任を語る。

日時: 11月20(土)18時半~

場所: エルおおさか 708号室 (Zoom参加も可)

### 案内 11/21 宇治火薬製造所・伏見桃山陵現地見学会

大阪城にあった大阪砲兵工廠で砲弾が製造され、宇治火薬製造所で火薬が製造され、その中間の枚方に運ばれて合体され砲弾となり、枚方禁野火薬庫に貯蔵された。

日時: 11月21日(日)13:00

集合: 京阪黄檗駅改札口前 講師: 塚崎昌之さん

主催: 大阪城狛犬会・1%の底力で朝鮮学校の民族教育を支える会

### 案内 12/4 今年も南京証言集会です

戦時を許さないために…ともに考える時を

「日中友好、日中不再戦」を掲げて、南京大虐殺60年大阪実行委員会が今年も開催する証言集会。ぜひ参加を

1部: 「南京受難の地を巡る」(記念館)

石秀英さんの証言(DVD)

2部: 講演「八路軍の少年兵」藤後博巳

会場: 阿倍野市民学習センター

1時開場 1時30分開会

### 案内 老朽原発このまま廃炉! 大集会 in おおさか



今年も大阪で上記の集会が準備されている。政府の「エネルギー基本計画」は老朽原発を含む原発の再稼働を計画に組み込んでいる。関電は、老朽炉美浜3号炉を6月に再稼働させ、先頭を切って老朽炉稼働を推進した。

しかし関電は「2023年末までに使用済核燃料」の県外貯蔵ができなければ、原発を停止することを約束している。全面廃炉に向け闘いを強めよう!

12月5日 13:00  
うつぼ公園 デモ

### 案内 教科書全国集会 2021 政府見解をすり込む教科書NO!

菅政権の閣議決定によって「従軍慰安婦」「強制連行」という言葉が不適切とされ、教科書の記述も「慰安婦」「徴用工」という言葉に置き換えられた。従軍・強制という言葉は抜くことで政府は何をもくろんでいるのか。12月18日の集会では、高島伸欣さんによる「高校教科書書き換え問題の本質」についての講演が行われる。

### 教科書記述の書き換え強制

文科省は教科書の採択が終わった後に、教科書会社に圧力をかけ、「訂正申請」を強要した。これは菅政権が「慰安婦」「徴用工」が適切であると閣議決定したことが発端である。教科書記述に対する政治介入は、断じて許されない。

12月18日 14:00~16:30  
エルおおさか 本館 6階大会議室

